

ゆめまちテラスえち (旧愛知郡役所) の活用

Q 本格的な稼働はいつ頃か

A 2020年4月を目途に準備を進める



徳田 文治 議員

ゆめまちテラスえち(旧愛知郡役所)の活用について

問 ①検討委員会で議論されてきた内容は。

答 (まちづくり協働課長) ①昨年12月から活用委員会へ諮問し、現在まで5回の会議を開催し、議論をしている。

進行状況は、第1・2回目は活用案につき幅広い意見やアイデアを出してもらい、地域資源の活用や人材育成、様々な人が集える居場所などに繋がる拠点とするなど、多くの意見が出された。3回目は、町の指定文化財であるこの施設を新たなシンボルとして活用を目指すため、「学び」、「人材育成」、「地域資源」、「居場所」を設定し、議論した。4回目は、昨年10月開館後の利用状況や利用者アンケートを参考に、利活用にあたっての基本的な考え方を検討した。5回目(5月28日開催)は、中間報告書の取りまとめに向けて、利活用の基本的な考え方と具体の活用策に、協議した。6回目(6月12日開催)は、協議の後、町あてに中間報告

書提出予定である。

書を提出予定である。

答 (企画政策監) ②9月を目途に検討委員会から答申をいただき、町として利活用方法を決定し、予算を講じた上で備品準備を行うと共に、運営体制づくりを行う必要がある、2020年4月を目途に本格的に稼働するよう準備を進める予定である。

書提出予定である。



ゆめまちテラスえち

平成30年度に策定した「第7期高齢者保健福祉計画および介護保険事業計画」に基づき、6つの施策により各種事業を展開している。

①介護予防の充実
運動習慣の定着に向け、健康元気もりもり教室を開催。

②認知症対策の充実
愛知・犬上4町と豊郷病院とが連携して、認知症初期集中支援チームを設置し、受診が困難な高齢者に対し医師等が自宅に

訪問する事業を展開。また、キャラバンメイトによる認知症の正しい理解の啓発を実施。

③在宅介護支援の充実
利用者や介護者のニーズを的確に把握し、きめ細かな福祉サービスの情報提供。

④医療・看護・介護の連携強化
医療支援が必要な高齢者の在宅生活を可能にするため、多職種による連携体制の構築。

⑤生活支援・見守り体制の充実
訪問等による安否確認と困りごとや不安解消に対するサービス・支援の提供による孤立防止。

⑥生きがいや余暇の充実
生活・介護支援サポーターの担い手を育成し、住民主体の地域活動や高齢者の活動を支援。

高齢者が生きがいを持ち、住み慣れた地域や自宅で安心して暮らし続けていけるよう庁内関係部署や社会福祉協議会をはじめ様々な関係機関との連携を図り、各種施策を推進していく。

新教育長に聞く

Q 今後の教育方針は

A 人が輝き 人が育つ 未来を拓く教育である



西澤 桂一 議員

今後の教育方針

教育長が不在のこの一年間「学校給食費の着服」「秦荘東小学校では台風21号による停電で3日間授業が再開できなかった」「中学校でのいじめ」「不登校」「学力問題」など多くの課題が山積している。この4月に新しい教育長が就任された。期待を込めて教育方針や各課題に対する考えを質した。

問 今後の教育方針について尋ねる。

答 (教育長) 教育理念・目標としているのは「人が輝き 人が育つ 未来を拓く教育」である。

「人が輝き」とは、人々がそれぞれの個性・持ち味・強み・可能性・良さなどを発揮し生き生きと活動し自己実現を目指す。「人が育つ」とは、交流やふれあい・学びあい、競い合いを通じて自身を高める。「未来を拓く」とは、夢や志が学びや活動の原動力となり、自身の将来や社会の未来を豊かに切り開いていくことを意味する。

問

例年実施されている全国学力・学習状況調査結果が愛荘町の場合、県平均よりも低い状態が続いている。学力だけを重視するわけではないが、基礎学力をつける。将来の可能性を広げるにはやはり学力の向上が大切である。今までの取組みと今後の方針を尋ねる。

答 (教育長)

学力テスト等の分析により、各学校での課題を明らかにし、学力調査研究委員会、各学校で具体的な取り組みを策定し、実践してきた。その結果、毎時間の授業における振り返り時間の充実・学習形態の工夫等の授業改善が進んでいる。

しかし、言語についての知識・読む・書くに課題が大きく、今年度から基礎学力の育成・学ぶ意欲・読書に親しむ環境づくりを進める。

問

学力調査結果は公表すべきではないか。

答 (教育長)

序列化につながる公表は必要がない。しかし、学力向上

策を愛荘町総がかりで展開し、これからの社会を生き抜く力を子供たちに育むために総合教育会議や教育委員会等で検討し方向性を出す。

愛荘町ゆめまちテラスえち(旧郡役所)の利活用

問 昨年6月に9月末に完成する旧郡役所の利活用について、それまで進められてきた計画を中断し、改めて検討し直し本年9月を目途に活用構想をまとめるとされた。現在の進捗状況を尋ねる。

昨年6月に9月末に完成する旧郡役所の利活用について、それまで進められてきた計画を中断し、改めて検討し直し本年9月を目途に活用構想をまとめるとされた。現在の進捗状況を尋ねる。



ゆめまちテラスえちでの研修

答 (町長)

様々な分野で活動されている方で構成する「活用検討委員会」へ諮問し、現在5回目の会議を終えた。6月12日第6回目の会議後中間報告書をいただくことになっている。

問

本格的オープンはいつになるのか。

答 来年4月を目途に進める。

第2次環境基本計画

問

環境基本計画が策定されたが、現在世界的に問題となっている廃プラ・レジ袋・食品ロスが取り上げられていない。町民一人ひとりが自分の問題として考えるように町として具体的な取組みを進めるべきである。

答 (くらし安全環境課長)

国の基本方針が示された後、滋賀県や近隣市町の対応状況を踏まえ検討する。

その他の質問・再質問はページの関係で省略します。